



第36回毘沙門まつり・全国泣き相撲大会 参加豆力士を募集します

- 対象 令和4年11月1日～令和5年10月31日生まれの子ども
- 開催日 5月4日(土・祝)～5日(日・祝)
- 開始時間(1日5回) ①午前9時30分②午前11時③午後0時30分④午後2時⑤午後3時30分
- 会場 三熊野神社(東和町北成島)
- 定員 600人(先着順)
※定員を超えた場合はキャンセル待ち登録になります
- 参加料 20,000円(着衣、参加記念品代など)
- 申込期間 2月1日(木)～15日(木)
- 申し込み方法 三熊野神社、市役所本館市民ホール、各総合支所、観光案内所などに備え付けの申込書に必要事項を記入の上、持参、郵送、ファクス、メールのいずれかで申し込み先へ
※申込書は市ホームページにも掲載しています



- 申し込み先 全国泣き相撲大会参加受付係(三熊野神社内〒028-0116 東和町北成島5-1 ☎29-4155 ✉mikumano@jupiter.ocn.ne.jp)
※電話での申し込みはできません。平日の午前8時30分～午後5時15分に限り、東和総合支所でも持参での申し込みを受け付けます



【問い合わせ】
▷全国泣き相撲大会参加受付係(三熊野神社内☎42-3921)
▷東和総合支所産業係(☎41-6512)



～交通指導員養成講座の受講生を募集します～ 地域のために活躍している交通指導員の活動を知ろう

市では、交通安全指導のための知識や技能を習得し、交通指導員として活動してくれる人を募集しています。

地域の交通安全を守るために活動している交通指導員の担い手の確保が課題になっています。興味のある人は、ぜひご参加ください。

- 対象 市内在住の65歳以下の人
- 日時 2月1日(木)、午前10時～11時30分
- 会場 市役所本庁本館
- 内容
 - 交通指導員の活動紹介(交通指導員の歴史や任務、心得など)
 - 交通指導員による体験談などの講話
 - 交通指導員が活動する際に使用している教材の展示や実演
- 定員 20人(先着順)
- 受講料 無料
- 申込期限 1月30日(火)

交通指導員ってどんな活動をしているの？



交通指導員は登校時の交差点などに立ち、地域の子もたちが安全に登校できるように活動しています。また、交通指導車による広報活動、保育園や学校などに出向いて交通安全教室を行うなど、地域の交通安全に貢献しています。



▲交通安全教室の様子



▲交通指導員養成講座の様子

【問い合わせ・申し込み】
新館市民生活総合相談センター(☎41-3551)



新たな「土砂災害が発生するおそれのある箇所」にお住まいの世帯へ 防災ラジオを無償でお貸しします

県では、令和4年度に新たな「土砂災害の発生するおそれのある箇所」を公表しました。

これを受け、市では、この箇所にお住まいの世帯へ、防災ラジオを無償でお貸しします。

- 対象
新たな「土砂災害が発生するおそれのある箇所」にお住まいの世帯
▷対象世帯には、12月下旬に市から申込書を送付しています。申込書が届いていない場合は、本館防災危機管理課までご連絡ください。
▷以前に土砂災害特別警戒区域や土砂災害警戒区域とされている区域にお住まいの世帯には、防災ラジオを配布しています。まだ受け取っていない場合は、本館防災危機管理課までご連絡ください。

- 手続き方法
申込書に必要事項を記入の上、1月31日(水)までに返送ください。

- ラジオの配達
1月下旬以降、申込書の審査が完了したものを順次、ゆうパックで配達します。

●防災ラジオとは



高齢者等避難が発令されました

防災ラジオは、災害時には自動で起動し、避難情報や災害に関する情報を放送します。普段は、一般的なラジオとして利用いただけます。

■有償で購入もできます

- 対象区域外にお住まいの場合は、防災ラジオを有償で購入できます。
- ▷個人…5,000円
- ▷事業者…10,000円

【問い合わせ・申し込み】本館防災危機管理課
(〒025-8601 花城町9-30 ☎41-3511)

新たな「土砂災害が発生するおそれのある箇所」とは

近年、従来の土砂災害警戒区域以外でも大雨などによる災害が発生しています。

県は、これまでより詳しい地形情報を用いて調査を実施。調査の結果、急傾斜地の崩壊や土石流などのリスクがある、新たな「土砂災害が発生するおそれのある箇所」が花巻市内に483カ所あることを令和4年度に公表しました。

これを受け、市では、令和5年4月に当該箇所を記載した地図(*)を全戸配布しています。以前に配布したハザードマップと合わせて土砂災害のリスクを確認し、早めの避難を心掛けてください。



*この地図は、本館防災危機管理課および県南広域振興局花巻土木センターで閲覧できるほか、県ホームページや「いわてデジタルマップ」に掲載されています



いわてデジタルマップ